HDW-PU3 シリーズ

リファレンスガイド

本書は、困ったときにお読みください
本書には、本製品を使用するうえでの注意事項・制限事項や、フォーマット方法などが記載されています。セットアップ手順や視聴アプリ「MiniStation Air」の使いかた、インターネット接続手順は記載されておりません。セットアップ手順は製品添付のマニュアルを、「MiniStation Air」の使いかたやインターネット接続手順は、MiniStation Air のヘルプ（MiniStation Air を起動し、メニューや設定にあるバージョン情報から表示できます）をご参照ください。

Q&A　インターネットで当社製品の Q&A 情報を入手できます。
86886.jp

本書の使いかた

本書を正しくご活用いただくための表記上の約束ごとを説明します。

表記上の約束

注意マーク .... ⚠注意 に続く説明文は、製品の取り扱いにあたって特に注意すべき事項です。この注意事項に従わなかった場合、身体や製品に損傷を与える恐れがあります。

次の動作マーク .... ↘次へ に続くページは、次にどこのページへ進めばよいかを記しています。

文中の用語表記

・Windows 搭載パソコンの場合、本書では、次のようなドライブ構成を想定して説明しています。
　C: ハードディスク
　D: DVD ドライブ

・文中［　］で囲んだ名称は、ダイアログボックスの名称や操作の際に選択するメニュー、ボタン、チェックボックスなどの名称を表しています。

・本書に記載されているハードディスク容量は、1GB ＝ 1000^3byte で計算しています。OS やアプリケーションでは、1GB ＝ 1024^3byte で計算されているため、表示される容量が異なります。

■ 本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更される場合があり、現に購入された製品とは一部異なることがあります。

■ 本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがありましたら、お買い求めになった販売店または当社サポートセンターまでご連絡ください。

■ 本製品は一般的なオフィスや家庭の OA 機器としてお使いください。万一、一般 OA 機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、当社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

　・医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。

　・一般 OA 機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときは、ご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全におこなってください。

■ 本製品は、日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外では使用しないでください。また、当社は、本製品に関して日本国外での保守または技術サポートを行っておりません。

■ 本製品（付属品等を含む）を輸出または提供する場合は、外国為替及び外国貿易法および米国輸出管理関連法規等の規制をご確認の上、必要な手続きをおとりください。

■ 本製品の使用に際しては、本書に記載した使用方法に沿ってご使用ください。特に、注意事項として記載された取扱方法に違反する使用はお止めください。

■ 当社は、製品の故障に関して一定の条件下で修理を保証しますが、記憶されたデータが消失・破損した場合については、保証しておりません。本製品がハードディスク等の記憶装置の場合または記憶装置に接続して使用するものである場合は、本書に記載された注意事項を遵守してください。また、必要なデータはバックアップを作成してください。お客様が、本書の注意事項に違反し、またはバックアップの作成を怠ったために、データを消失・破棄に伴う損害が発生した場合であっても、当社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ 本製品に起因する債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、当社に故意または重大な過失があった場合を除き、本製品の購入代金と同額を上限と致します。

■ 本製品に隠れた瑕疵があった場合、無償にて当該瑕疵を修補し、または瑕疵のない同一製品または同等品に交換致しますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責に任じません。

目次

1 はじめに

バッテリーの取り扱いに関する注意

本製品はリチウムイオン電池を内蔵しています（取り外すことはできません）。
下記の警告を必ずお守りください。

●電池パックの液が漏れたときは、液に触れないでください。
やけどの恐れがあります。もし、液が皮膚や衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で洗い流して医師に相談してください。液が目に入ったときは、失明の恐れがありますので、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けてください。

●電池パックを濡らしたり、水などの液体の中へ入れたりしないでください。
発熱・破損・発火・故障の原因となります。万一、濡れた場合は、直ちに使用を中止し、当社サポートセンターまたはお買い求めの販売店にご相談ください。

●分解・改造をしないでください。
電池パックの液体が飛び出し、目に入って失明の恐れや、発熱・破裂・発火の原因となります。

●本製品は定期的に充電してください。
本製品の性能が劣化するのを防ぐことができます。

●充電が終わったら、給電用 USB ケーブルを本製品から取り外してください。

● 電池パックを火の中に入れないでください。また、直射日光のあたる場所に放置しないでください。

● 電池パックに衝撃を与えないでください。

● 電池パックは、お子様の手の届かない場所に保管してください

● 電池パックを飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

● 電池パックは、ご使用になる前に充電してください。充電は、マニュアルの指示に従って行ってください。

●長時間使用しないときは、USB パワーケーブルを本製品から取り外してください。

● 電池パックは、数回充電や放電（本製品を使用してバッテリーを消耗）を繰り返すと、最適なパフォーマンスを発揮します。

●標準的な室内（20℃＋ 5℃）の場合、最適なパフォーマンスを発揮できます。

●付属のマニュアルや保証書などは、大切に保管してください。

●リチウムイオン電池は一般のゴミとして廃棄することはできません。本製品を廃棄するときは、当社「バッテリーリサイクル受付」窓口まで製品をご送付ください。

〒 457-0831
愛知県名古屋市南区荒浜町 4-6-1
株式会社バッファロー　バッテリーリサイクル　受付宛
TEL:050-3163-1825
※宅配便など、必ず配達記録が残る発送で梱包をして送付をお願いします。
※お送り頂く際の送料はお客様のご負担でお願い致します。

パソコン接続時（USB 接続時）の注意

●本製品に仮想メモリーを割り当てないでください。
本製品を取り外した際に、ハードディスク内のデータが破壊されるおそれがあります。

●本製品にアクセスしているときは、絶対に USB ケーブルを抜いたり、パソコンの電源スイッチを OFF にしたりしないでください。
データが破損するおそれがあります。

●本製品へのアクセス中は、パソコンを省電力モード（スタンバイ、休止状態、スリープなど）にしないでください。
データが破損したり、省電力モードから復帰できないことがあります。

●お使いのパソコンとの組み合わせによっては、パソコンの省電力モード（スタンバイ、休止状態、スリープなど）をご利用いただけない場合があります。

●本製品はホットプラグに対応しています。
本製品やパソコンの電源が ON のときでも USB ケーブルを抜き差しできます。ただし、必ず定められた手順に従って取り外してください。

⚠注意 本製品にアクセスしているときは、絶対に USB ケーブルを抜かないでください。本製品に記録されたデータが破損する恐れがあります。

●本製品が正常に動作しない場合は、付属の給電用ケーブルと AC アダプターを使用して、本製品をコンセントに接続してください。
お使いのパソコンによっては、本製品に給電する電力が足りず、本製品が正常に動作しないことがあります。

●本製品を充電する場合は、給電用ケーブルと AC アダプターを使用してコンセントに接続するか、給電用ケーブルでパソコンに接続してください。
本製品を USB ケーブルでパソコンに接続した場合でもバッテリーランプが点灯しますが、本製品（ハードディスク）の駆動に電力を使用するため、充電される電力が少なくなります。

●パソコン本体と周辺機器のマニュアルも必ず参照してください。

●本製品から Windows を起動することはできません。

●本製品の上に物を置かないでください。
故障の原因となる恐れがあります。

●Windows パソコンで使用する場合
本製品を USB 2.0/1.1 準拠の USB コネクターに接続すると、「高速 USB デバイスが高速ではない USB ハブに接続されています。（以下略）」と表示されることがあります。そのまま使用する場合は、[×] をクリックしてください。

●本製品の動作時、特に起動時やアクセス時などに音がすることがありますが、異常ではありません。

電波に関する注意

●本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、工事設計認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、本製品は、日本国内でのみ使用できます。

●本製品は、工事設計認証を受けていますので、以下の事項をおこなうと法律で罰せられることがあります。

・本製品を分解 / 改造すること

・本製品の裏面に貼ってある証明レーベルをはがすこと

● IEEE802.11b/g 対応製品は、次の場所で使用しないでください。

電子レンジ付近の磁場、静電気、電波障害が発生するところ、2.4GHz 付近の電波を使用しているものの近く（環境により電波が届かない場合があります。）

● IEEE802.11b/g 対応製品の無線チャンネルは、以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。

・産業・科学・医療用機器

・工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の無線局

①構内無線局（免許を要する無線局）

②特定小電力無線局（免許を要しない無線局）

●IEEE802.11b/g 対応製品を使用する場合、上記の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。

1. 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに本製品の使用周波数を変更して、電波干渉をしないようにしてください。
3. その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、当社サポートセンターへお問い合わせください。

使用周波数	2.4GHz
変調方式	OFDM方式/DS-SS方式
想定干渉距離	40m以下
周波数変更の可否	1～11ch(2412～2462 MHz)を使用し、かつ「構内無線局」「特定小電力無線局」帯域を回避可能

無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティーに関するご注意

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。
その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティーに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、ID やパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報、メールの内容等の通信内容を盗み見られる可能性があります。

不正に侵入される

●悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）

●特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）

●傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）

●コンピューターウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN カードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティーの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティーに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。
無線 LAN 機器は、購入直後の状態においては、セキュリティーに関する設定が施されていない場合があります。
従って、お客様がセキュリティー問題発生の可能性を少なくするためには、無線 LAN カードや無線 LAN アクセスポイントをご使用になる前に、必ず無線 LAN 機器のセキュリティーに関する全ての設定をマニュアルにしたがって行ってください。
なお、無線 LAN の仕様上、特殊な方法によりセキュリティー設定が破られることもあり得ますので、ご理解の上、ご使用下さい。
セキュリティーの設定などについて、お客様ご自分で対処できない場合には、「BUFFALO サポートセンター」までお問い合わせ下さい。
当社では、お客様がセキュリティーの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティーに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。

制限事項

本製品には、以下の制限事項があります。お使いになる前にご確認ください。

●本製品をパソコンなどと USB で接続している場合、無線での接続ができません。
USB ケーブルを取り外した後、無線で接続してください。

●本製品を充電する場合は、付属の給電用ケーブルと AC アダプターを使用して本製品をコンセントに接続することをお勧めします。
給電ケーブルでパソコンと接続した場合、充電される電力はパソコンによって異なります。そのため、お使いのパソコンによっては、充電に時間がかかることがあります。
また、USB ケーブルでパソコンと接続した場合もバッテリーランプが点灯しますが、本製品の駆動にも電力が使用されるされるため、充電時間はさらに長くなります（ほとんど充電されない場合もあります）。

●本製品を無線接続されたまま充電を行った場合、バッテリーランプが消灯し、充電が行われないことがあります。
本製品を無線接続したまま充電を行うと、本製品の内部温度が高温になる場合があります。その場合、本製品が高温で故障することを防ぐため、バッテリーランプが消灯し、充電が停止します。本製品の内部温度が下がった場合に、自動的に充電が再開されます。

●本製品の電源を ON にしたまま付属の AC アダプターで充電するときは、本製品とスマートフォンを同時に充電しないでください。また、AC アダプターのランプが点滅した場合は、本製品以外の機器を取り外してください。
AC アダプターのランプが点滅していると、過電流となっています。AC アダプターは 2 つの USB 端子を搭載していますが、最大出力電流は 2A です。本製品を動作させながら充電を行った場合、約 1.4A 消費（充電のみの場合は約 1A）します。特にスマートフォンなど、多くの電流を消費する機器と同時に接続すると、過電流となり正常に充電できないことがあります。

●本製品のバッテリーは取り外しできません。

●本製品の電源を ON にしてから、起動するまでに約 1 分程度かかります。起動中には電源を切ることができません。
正常に起動した後、電源ボタンを 3 秒以上長押しすると電源が切れます。

●起動中に衝撃や振動を加えないでください。HDD が破損する可能性があります。

●4G 以上のファイルを使用する場合は NTFS に再フォーマットが必要です。
本製品は Mac OS 拡張形式（HFS+）に対応していないのため、Mac で使用する場合は FAT32（出荷時設定）でお使いください。

●本製品に無線接続できる機器の同時接続数は 3 台までです。

●無線接続は、AUTO チャンネルだけに対応しています。そのため、Wi-Fi の電波が多い環境では繋がらない場合があります。

●インターネットモード (他の無線親機に接続する機能) を有効にした場合、スループットが半分以下となります。
インターネットモードを使用している場合は、1 台のみの接続を推奨いたします。

●製品本体の AOSS ボタンを押すことでスマートフォンなどと AOSS 接続することができます。
WPS には対応しておりません。

●無線チャンネルの変更を手動で行うことができません。
オートチャンネルのみの対応です。

●無線接続した機器からデータのアップロードやダウンロードをしているときに、本製品のバッテリーが切れたり、無線接続が途切れたりすると、正常にデータをアップロードやダウンロードできないことがあります。

●本製品の IP アドレスは「10.10.10.254」です。変更することはできません。
本製品を無線親機に接続する場合は、無線親機のネットワークアドレスを本製品のネットワークアドレスと異なる値に設定してください。

● iPhone/iPad を付属の充電器の「2A port」マークが記載された端子に接続した場合は、もう一方の端子に他の機器を接続しないでください。

● スマートフォンやタブレットと AOSS で接続した場合、本製品の SSID が追加されます（追加される SSID は、「BUFFALO-XXXXXX_ 数字（XXXXXX は本製品の MAC アドレスの下 6 桁）」となります）。
追加された SSID を消去したい場合は、本製品を初期化してください。なお、初期化すると、本製品の設定が初期化されます（本製品に保存したデータは消去されません）。初期化するには、本製品のリセットボタンを 3 秒以上長押ししてください。

● 本製品を無線親機する場合、無線親機の SSID に 2 バイトコード文字（全角英語、日本語など）や「"」(ダブルクオーテーション) を使用していると、無線親機の SSID が正しく表示されないことがあります。この場合は、無線親機の SSID を半角英数字に変更してください。

2 フォーマット（初期化）

フォーマット（初期化）とは

フォーマットとは、ハードディスクを使用できるようにする作業です。
本製品は、出荷時に FAT32 形式でフォーマットされていますので、そのままお使いいただけます。
ただし、FAT32 形式の制限のため、4GB 以上のファイルは本製品に保存することできません。

Windows をお使いの方へ

本製品を NTFS 形式でフォーマットすれば、4GB 以上のファイルも保存することができます。
ただし、NTFS 形式の場合は、Mac で書き込みができません。
本製品を Mac でも使用される場合は、FAT32 形式のままお使いください。

Mac をお使いの方へ

本製品は、出荷時状態（FAT32 形式）のままお使いください。
Mac OS 拡張形式で初期化すると、iPad/iPhone、Android 搭載端末などでファイルを視聴できなくなります。
もし、初期化してしまった場合は、本書の手順で FAT32 形式で初期化しなおしてください。

フォーマット時のご注意

- **フォーマット中は、絶対にパソコンの電源スイッチを OFF にしたり、リセットしないでください。ディスクが破損するなどの問題が発生します。また、以後の動作についても保証できません。ご注意ください。**
- **フォーマットすると、ハードディスク内にあるデータは失われます。フォーマットする前に、ハードディスクの使用環境をもう一度よく確認してください。**
  ハードディスクのフォーマットは、お客様ご自身の責任で行うものです。
  誤って大切なデータやプログラムを削除しないように、フォーマットを実行するディスクが何台目のディスクか、パーティション名は何か必ず確認しておいてください。

NTFS 形式でフォーマットする（Windows）

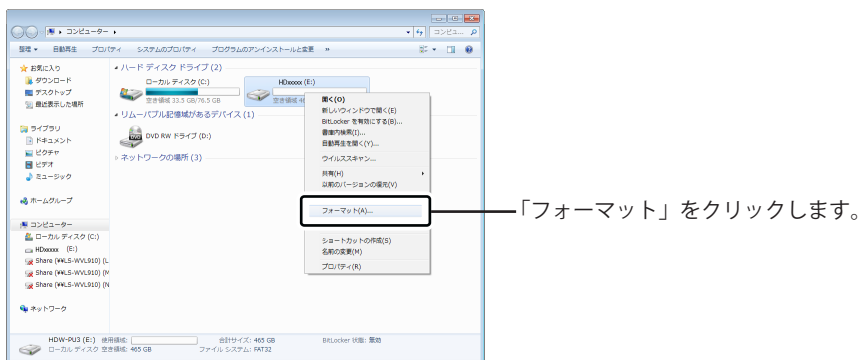
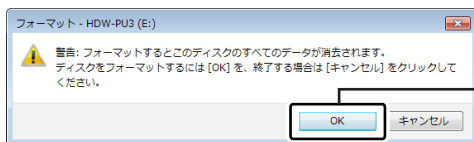
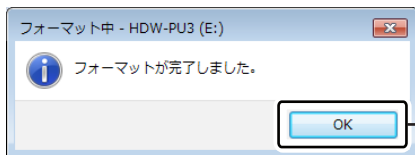
Windows パソコンをお使いの場合は、NTFS でフォーマットすると 4GB 以上のファイルも保存できるようになります。

⚠注意　NTFS 形式でフォーマットすると、Mac では書き込みできなくなります。

1 本製品を付属の USB ケーブルでパソコンと接続します。

2 [スタート] – [コンピュータ（マイ コンピュータ）] を選択します。

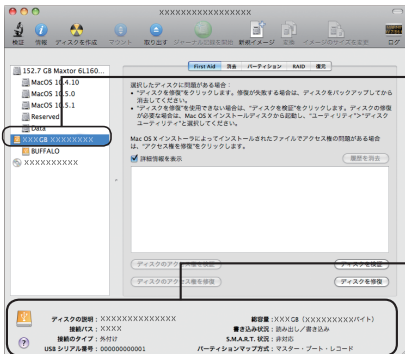
3 本製品のアイコンを右クリックし、フォーマットを選択します。

4

5 [OK] をクリックします。

6 [OK] をクリックします。

以上で完了です。

FAT32 形式でフォーマットする（Mac）

Mac でも本製品にデータを書き込む場合は、FAT32 形式でフォーマットしてください。

⚠注意
- **4GB 以上のファイルは書き込みできません（FAT32 形式の制限です）。**
- **フォーマットは､Mac で行ってください。Windows では､本製品を FAT32 形式でフォーマットできません。**
- **以下の手順は、NTFS 形式や Mac OS 拡張形式でフォーマットしたときに行ってください。本製品は、出荷時に FAT32 形式でフォーマットされています。**

1 本製品を付属の USB ケーブルで Mac と接続します。

1 をクリックして [Finder] を表示します。

2 Finder ファイル 編集 表示 移動

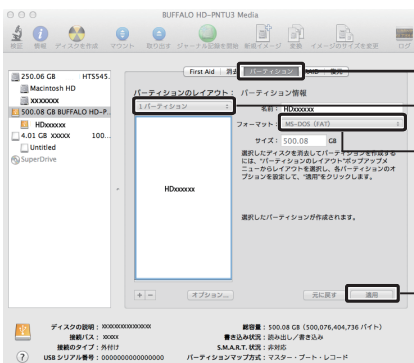
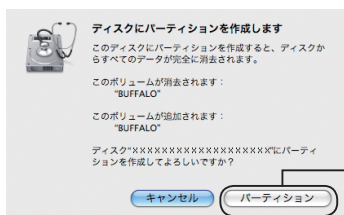
[移動] メニューの [ユーティリティ] を選択します。

3 [ディスクユーティリティ] をダブルクリックします。

4

①フォーマットするディスクをクリックします。

②フォーマットするディスクの情報を確認します。ディスクの情報は製品によって異なります。

5

6

以上で FAT32 形式のフォーマットは完了です。

3 仕様

最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ（buffalo.jp）を参照してください。

製品仕様

<table>
<tr><td>出荷時フォーマット形式</td><td colspan="2">FAT32</td></tr>
<tr><td>外形寸法（突起物含まず）</td><td colspan="2">130 × 84 × 23 mm</td></tr>
<tr><td>内蔵電池</td><td colspan="2">バッテリー内蔵型リチウムイオンバッテリー（2860mAh）</td></tr>
<tr><td>入力電圧</td><td colspan="2">AC 100 ～ 240 V　50 / 60 Hz　（AC アダプターからの充電時）
DC 5 V ± 5 %（パソコンからの充電時）</td></tr>
<tr><td>消費電力</td><td colspan="2">最大 7 W</td></tr>
<tr><td>充電完了時間</td><td colspan="2">約 4 時間 30 分（※）</td></tr>
<tr><td>重量</td><td colspan="2">約 285g</td></tr>
<tr><td rowspan="2">動作環境</td><td>温度</td><td>5 ～ 35 ℃</td></tr>
<tr><td>湿度</td><td>0 ～ 80 %</td></tr>
<tr><td>対応するパソコン
（USB 接続）</td><td colspan="2">USB3.0/2.0 端子搭載の Windows パソコン および
Mac（Intel プロセッサ搭載機種）</td></tr>
<tr><td>対応するスマートフォン、タブレット端末
（無線接続）</td><td colspan="2">iPhone、iPad、iPod touch（4th generation）、
Android 搭載のスマートフォンおよびタブレット端末</td></tr>
<tr><td rowspan="3">対応 OS</td><td>パソコン</td><td>Windows 7 (64 ビット、32 ビット)
Windows Vista (64 ビット、32 ビット)
Windows XP (32 ビット)
Mac OS X 10.5 以降（Mac の場合、USB3.0 接続は Mac OS X 10.7 以降）</td></tr>
<tr><td>iPad/iPhone/
iPod touch</td><td>iOS 5.0 以降
iOS 4.0 以降</td></tr>
<tr><td>Android 搭載端末</td><td>Android 4.0 以降
Android 3.0 以降
Android 2.3 以降</td></tr>
</table>

※ パソコンの USB 端子に給電用ケーブルを接続された場合、パソコンによっては充電時間がより長い時間かかることがあります。付属の AC アダプターを使って充電されることをお勧めします。

USB 部仕様

インターフェース	USB 3.0 (USB 2.0)
端子	USB 3.0 micro-B
転送速度（理論値）	USB 3.0 : 5Gbps（最大）* USB 2.0 : 480Mbps（最大）*

* USB 接続では、USB 3.0 端子に接続したときのみ最大 5Gbps の転送速度になります。 USB 2.0/1.1 端子に接続された場合、転送速度が遅くなります。

無線部仕様

準拠規格	IEEE802.11n IEEE802.11g IEEE802.11b
伝送方法	DSSS OFDM
周波数範囲 (チャンネル)	2.4GHz(1 ～ 11ch)
セキュリティー	WPA2-PSK(AES/TKIP) WPA-PSK(AES/TKIP) WEP(128-bit / 64bit)
アクセスモード	インフラストラクチャーモード AP/SAT 接続